

第20回記念

生保内節全国大会

この地で生まれ唄い継がれてきた生保内節を、全国の民謡を愛する人たちと共に、正しく継承しながら広く普及することを目的とした第20回記念生保内節全国大会が、9月22、23日の両日、仙北市民会館で開催され、全国各地から日ごろ鍛えたのどと節回しを競い合いました。

22日は一般の部準決勝進出60人を賭けた予選が行われ、出場者は自分の出番まで建物の外や廊下などで発声練習やイメージトレーニングを繰り返し予選に臨んでいました。

23日には年少の部決勝が行われ、市内からは5人が出場し、最優秀賞には地主和希さん（生保内小6年）が選ばれました。

引き続き、一般の部予選通過者60人による準決勝が行われ、決勝進出を目指した、熱い戦いが繰り上げられました。

一般の部決勝は、準決勝を通過した10人で行われ、市内からは、田村和子さん、近藤みつ子さんの2人が決勝に出場しました。全員が持ち味の違う『生保内節』を披露し、最優秀賞には深瀬康子さん（大仙市）が選ばれ第20代チャンピオンに輝きました。

表彰式では、井上隆明審査委員長から「恵みをもたらす風の唄は全国でもめずらしい。風をどのようにに表現するか。技巧に走らずに、堂々と唄うことが大切」などと講評がありました。

最後には、最優秀賞受賞者により受賞曲がうれしそうに披露されました。



年少の部最優秀賞の地主さん



近藤さん



田村さん

当日の成績（敬称略）

年少の部	【最優秀賞】	地主和希	（仙北市）
	【優秀賞】	山上衛	（秋田市）
		渡辺早織	（大館市）
		小松博美	（仙北市）
	【元唄特別賞】	地主和希	（仙北市）
一般の部	【最優秀賞】	深瀬康子	（大仙市）
	【優秀賞】	田村和子	（仙北市）
		浅野江里子	（秋田市）
		浅野恵子	（秋田市）
		近藤みつ子	（仙北市）
	【敢闘賞】	浅野晴香	（秋田市）
		三浦九十九	（由利本荘市）
		浜口優花	（大仙市）
		高橋歩惟	（大館市）
		松本ひろ子	（仙台市）
	【元唄最優秀賞】	千葉良	（横須賀市）



優勝旗を手に堂々と唄う深瀬さん